

森のおくりもの9月



ナツアカネ (トンボ科)



写真：浅倉健次さん (太白区)

この夏、光るキノコで一躍有名?になった太白山自然観察の森でしたが、そんな夏もなんとか終わり、徐々に秋へと進み始めております。これから秋が深まるまでの間、いろいろな表情を見せつつ移りかわる森の秋を動物や植物をとおして感じていただければと思います。まずは、初秋の森をお楽しみください。
(館長 菊池正行)

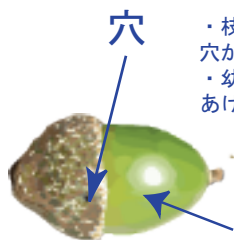
「どんぐり」が「ゆりかご」？ ハイロチョッキリ



9月になると、まだ熟していない緑色のどんぐりが枝ごと落ちているのをみかけます。さて、誰の仕業なのでしょう。落ちている枝の根元は、まるで刃物で切ったかのようにスパッと切れています。



よく見ると どんぐりの帽子に傷が！



穴

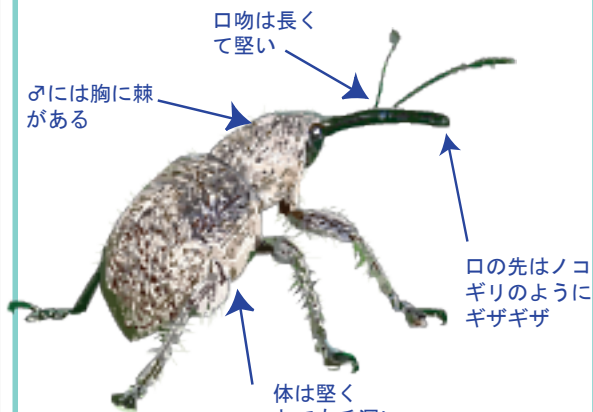
- ・枝ごと切ってあって、帽子に穴があったらハイロチョッキリ
- ・幼虫は帽子のところに穴をあけて出てくる

- ・枝が付いていなかったらシギゾウムシの産卵痕もみられません。
- ・幼虫は横から穴をあけてでてる。

ハイロチョッキリという、ゾウムシの仲間（口の部分がゾウの鼻のように長い形をした虫）が、どんぐりに卵を産み、枝ごと切り落としたものです。

どんぐりを物色したあと、枝に予め傷をつけておき、口吻を何度もどんぐりに刺し、体ごと左右に回すように動かして穴をあけていきます。穴があいたら、卵を一つ産卵し、削りかすで埋め戻し、さらに、枝まで切り落とすのですから、大変な労力です。1cmにも満たない小さい体で、一生懸命次の命をつなごうとしている姿に感動すら覚えます。

ハイロチョッキリ



口吻は長くて堅い

みには胸に棘がある

口の先はノコギリのようにギザギザ

体は堅くとても毛深い
毛がなくなると黒く見える

【体長：約7～9.1mm】

卵からかえった幼虫は種子（どんぐり）を食べ、秋に老熟幼虫が出てきて、土の中に潜り、幼虫で越冬します。翌年になってから蛹になり羽化します。

それにしても、どうして、枝を切り落とすのでしょうか？
幼虫が土にもぐりやすいように？
同じどんぐりに他の虫が卵を産まないように？
皆さんはどうしてだと思いますか？
森で見かけたら、シャープな切り口の枝をみて、この小さな生きものに思いを馳せてみて下さい。

【レンジャー：黒川周子】

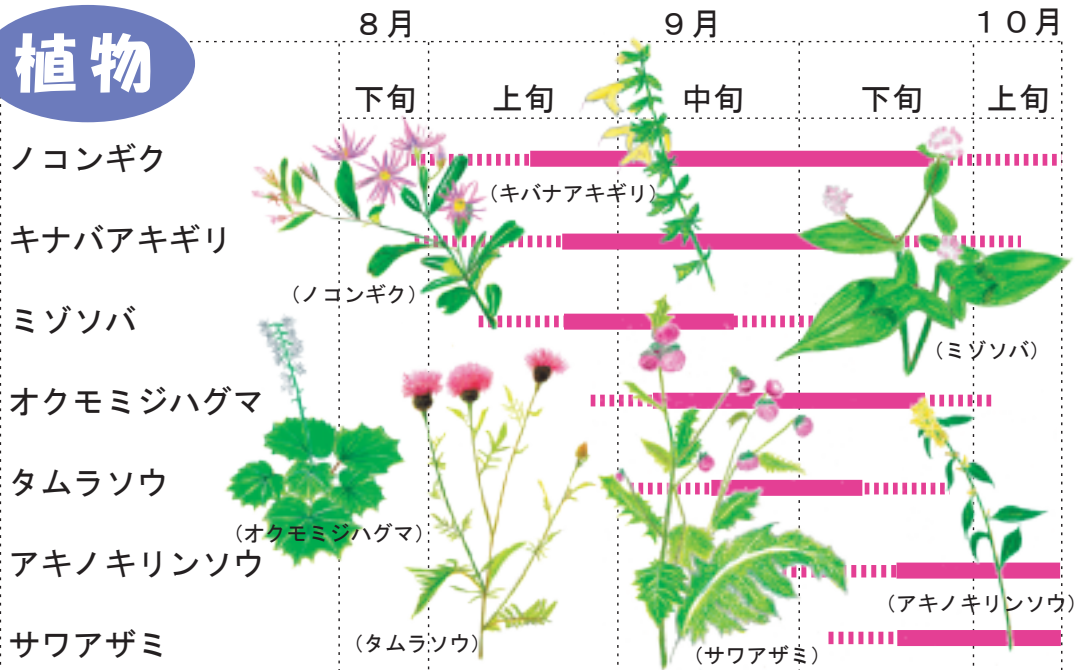
* 幼虫の中には、土中で2回も冬越しするものもいます。

* 落下前のどんぐりに穴をあける虫は他にも、クリシギゾウムシ・コナラシギゾウムシ、クヌギシギゾウムシなどがいます。

* 産卵後、枝を切らない場合もあります。

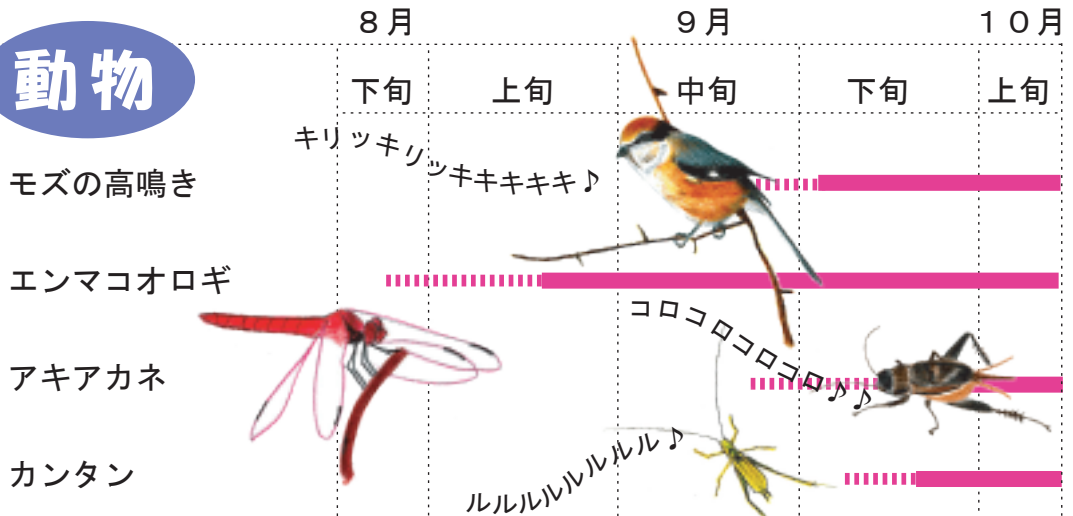
9月の生物ごよみ

植物



- 8月8日 センター前でキツネノカミソリが咲き始める。昨年より1週間ぐらい早く開花する。
- 8月13日 センター付近でハラオカメコオロギが鳴き始めた。
- 8月19日 ヤマツツジの丘でたくさんのメジロがヤマウルシの実を食べていた。
- 8月22日 ヤマツツジの丘でチッチゼミの鳴き声を聞く。今年初。

動物



【レンジャー：齋 正宏】

森で見つけた！

今月のはっけんメモ

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思います。

はっけんメモ その4 『蝶のかたち？マメ科の花の秘密』

春にはフジ、夏にはクズ、ネムノキなどマメ科の花はたくさんありますが…秋もハギ類などマメ科の花がたくさん咲く季節。蝶々のようにかわいらしい花びらや、黄色や紫色の濃淡が美しい花色を楽しむことができます。

マメ科の花の特徴は、「蝶形花冠」と呼ばれるコロンとした姿でしょうか。(ネムノキ(多数の花が集合したブラシのような形)などの例外もあります。)この形には昆虫に花粉を運んでもらうための工夫が隠されています。



- ・マメ科の蝶形花冠の花びらは全部で5枚
- ・旗弁(大きくて目立つ1枚、昆虫を呼ぶ目印)
- ・舟弁(一番内側にある2枚)
(雌しべと雄しべの束を包んでいる)
- ・翼弁(舟弁の左右にある2枚)
(蜜を吸いに来た昆虫の足場になる)
- ・昆虫が旗弁の根元にある蜜を吸うために翼弁に止まると、翼弁と舟弁が押し下げられて、雄しべと雌しべの束が飛び出てくる。蜜を吸いに来た昆虫に花粉がくっつき、昆虫が他の花へ移動すると受粉できる仕組みです。

ハギ類は公園に植栽されていたり目にする機会が多いと思うので、ここではクズのようなつる性の2種類を取り上げます。花が葉っぱの影に隠れてしまうので少し見つけづらいのですが、どちらも散策路沿いに絡まっているので探してみてくださいね。

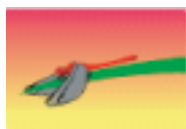


【ノササゲ】 マメ科ノササゲ属
つる性の多年草、つるは針金状に長く伸びる
葉は長卵形で薄く、裏が白っぽく、毛は無い
花は淡黄色の蝶形で、長さは1.5～2センチ



【ヤブマメ】 マメ科ヤブマメ属
つる性の2年草
葉の両面や茎には短毛が密に生える
花は淡紫色の蝶形で長さは1.5～2センチ

【レンジャー：河合 遥】



新人レンジャーの巡回日記



巡回をしていると、季節ごとにいろいろな花が入れ替わり咲くのを確認できますが、その名前を調べると、生き物の名前が付いている花が多いことに気がきました。そこで今回は、観察センター内で観られる生き物の名前の付いた花をいくつか紹介します。



オカトラノオ

この花は、白くて小さい花をたくさん付けるオカトラノオです。その花の穂が途中で曲がり、垂れ下がっている様子が虎の尾のように見えることから名付けられたそうです。



キツネノカミソリ

次に、きれいなオレンジ色の花。これは、キツネノカミソリという名の花です。葉の細長い所をカミソリに見立てて付けられたそうですが、なぜキツネなのかというと、キツネが住む所に咲くとか、花の色をキツネの色に見立てた、等の諸説があります。



ヤマジノホトトギス

最後に紹介するこの花は、白い花びらに紫色の斑点のある可愛らしい花です。この花の斑点をホトトギスの胸にある模様に見立てたことから、ヤマジノホトトギスと名付けられています。



イベントの報告

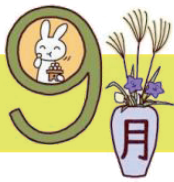


8月23日(土)に「虫とあそぼう」のイベントが七北田公園で行われました。当日は、夏の日差しが照りつけながらも、時々爽やかな風が吹き込む好天の中、たくさんの方々の来場がありました。公園で採った虫を蚊帳の中に放して、近くで観たり、触ったりして歓声を上げながら楽しむ様子が見られました。

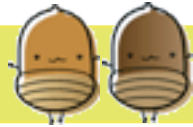


※イベントによっては、申し込みが必要なことがありますので、詳しくは、イベントのお知らせの覧でご確認下さい。

【レンジャー：鷲 千尋】



のイベント & お知らせ



◆『虫むしめっけ♪』

9月13日(土) 10:00~11:30

・未就学児と保護者の方を対象にした自然観察プログラムです。
昆虫の捕まえ方から体験します。

【定員】15名(未就学児とその家族)

【持ち物】帽子、長袖・長ズボン、飲み物、虫よけ、雨天時は雨具(カッパ)
※捕虫具は不要です。

【申込み】9月6日(土)午前9時から電話で受付〔先着〕

◆赤トンボ観察会『アカネちゃんを探そう』

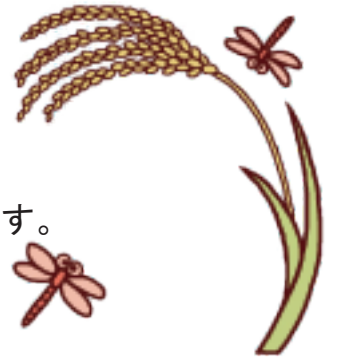
9月27日(土) 10:00~11:30

・観察の森にいる赤トンボを捕まえて、見分け方を学びます。

【定員】15名(小学3年生~小学6年生の児童)

【持ち物】歩きやすい服装、飲み物、雨天時は雨具(カッパ)

【申込み】9月7日(日)午前9時から電話で受付〔先着〕



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

9月の開催日は
7日、14日、21日、28日です。

開催時間:午前 10:00~11:30
午後 13:30~15:00

◎28日の午後は、自然観察センター館長がご案内します。
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!

イベント申込用



9月の休館日

8日、16日、
22日、29日

♪森へおいでください♪



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



スタッフBLOG開始しました!

自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2014年9月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp